

# 教育ガバナンスコース

募集人員  
60名

## 幅広い科目編成で、現代社会に対応。

さまざまな立場の人が協働・協力する学校現場の実現に貢献できるように、学校をはじめとする教育事務の調整や戦略的企画の立案、事務管理などに精通する資質・能力を培います。学校や教育にかかわる業務を専門的見地から支援し、情報活用能力やグローバルな視野で活躍するために必要な資質・能力も習得した、教育機関などで活躍できる教育事務職員、教育にかかわる自治体職員などの育成を目指します。

詳細はコチラ



## 〔 4年間の学び 〕

1年次には、「共通教育科目」に加え、「課程内共通科目群」として、教育・発達の基礎理論（教育学基礎科目）とチーム支援の基本的な考え方（教育支援科目）を学びます。2年次では、コースの学生が共通に履修する「教育ガバナンスコース専攻科目群」を土台に、教育、法律・行財政、情報、グローバルの4分野で専攻科目を構成し、3年次以降にどの分野をより深く学んでいくかを決定します。3・4年次では、学生たちの興味・関心に沿って、4分野を中心により深い学修に取り組み、「教育ガバナンス演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」等を通して、卒業論文の作成を行います。

## 取得できる資格

### ◎社会教育主事（社会教育士）

所定の科目の単位を修得することで、社会教育主事の任用のための基礎資格<sup>(※)</sup>と社会教育士の称号を得ることができます。社会教育主事とは、教育委員会の事務局や社会教育施設（公民館、青年の家など）で、社会教育を行う者に助言・指導を行う専門的教育職員です。社会教育士は、行政やNPO、企業、学校など多様な場で、住民の学習活動や地域の課題解決を支援します。

※社会教育主事に任用されるためには、所定科目の単位修得に加えて、1年以上社会教育主事補等を経験する必要があります。



ゼミでの意見交換



## 先輩 Voice

教育支援専門職養成課程 教育ガバナンスコース4年  
愛知県立横須賀高等学校出身



### 幅広い分野の知識を自分で選び 多様な職種の人と出会い、学びを深める 人と共に育み合える社会人を目指して

教育を基礎として、法律、情報、行政、国際など幅広い知識を自分で選択して学ぶことができるのが魅力です。法律分野、教育分野、行政分野、一般企業、NPOなど、様々な職種の方々と講義や訪問授業、集中講義を通して出会うことができ、自身の将来設計の幅が広がります。社会教育や生涯教育の分野にも関心を持ち、児童館やNPO施設での実践授業を通して、学校教育との違いや地域とのつながりも学びました。職への単なるあこがれだけでなく、実際に働いている人たちの思いや苦労などを知ること、将来は人と共に育み合える社会人を目指したいと考えています。

### ■ 私の時間割（2年生後期）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限			学校体験活動Ⅰ	教育法学概論	
2時限	教育社会学	学校におけるICT支援	学校体験活動Ⅰ	教育ガバナンス基礎演習B	
3時限	実践地方自治概論	子ども支援論	この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事後指導やガイダンスを行うことがあります。	政治学概論	
4時限		スポーツⅡ		教育事務の実践と理論	
5時限	キャリアデザインⅡ				

\*上記時間割で示した授業科目以外に2年次前期の必須科目として遠隔方式(オンデマンド型)で実施される「発達障害のある児童生徒理解基礎」や「外国人児童生徒支援教育」があります。